



# 秋田市立旭川小学校「森の学校」

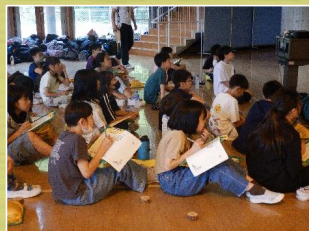
## 東北森林管理局 技術普及課、秋田森林管理署

6月12日に、秋田市立旭川小学校5年生85名を対象とした森林教室を実施しました。この活動は、「総合的な学習の時間」において、地域の自然のすばらしさや森林の重要性についての学習に取り組む同校から要請を受け、平成27年度から実施しているものです。令和6年度は『森と木の学習』『種飛ばし実験』『丸太切り体験』を入れ替え制にして、秋田市太平山自然学習センターまんたらめにて行いました。

MENU  
01

### 森と木の学習

森林の役割や管理の仕方、木材の利用についてクイズを織り交ぜながら紹介しました。クイズは3択で出題、正解者には景品をプレゼントということもあり、大いに盛り上がりました。難易度高めのクイズを用意したのですが、正解者が多いことに驚かされました。最終的には皆さん一生懸命答えてくれたので、職員が小枝で作成した『もっくん』のキーホルダーを全員にプレゼントし喜んでもらいました。子ども達は、職員の説明を熱心に聞きながらメモをたくさん取り、森林について理解を深めていました。



MENU  
02

### 種飛ばし実験

自分では動けない樹木が生息範囲を広げるため「風を利用する」「動物を利用する」「水を利用する」など、さまざまな方法で種子を散布することをパネルを使い紹介しました。その後、折り紙を使いラワンやニワウルシの種子の模型を作って飛ばし、風で運ばれる種がどのようにして風に乗って広がっていくかを観察しました。子ども達は、くるくる回りながら落ちる模型や種を興味津々の様子で眺めたり、お友達と競い合いながら何度も飛ばしてみたりと楽しみながら学習していました。



MENU  
03

### 丸太切り体験

ノコギリやチェーンソーなど実物に触れながら伐採道具の進化や現在使われている高機能林業機械について学んだあと、実際にノコギリを使った丸太切りを体験しました。子ども達は、悪戦苦闘しながらも職員の力を借りたり、自分で工夫したりして最後まで頑張って切っていました。切った丸太は紙ヤスリで磨いてきれいにし『まんたらめ』の焼き印を押し、コースターに仕上げお土産にしました。ぜひ、お家で使っただけ、本日学んだ内容を思い出し、森林をより身近に感じていただけたら嬉しいです。

